児童心理治療施設　ひむかひこばえ学園

【令和７年度重点目標実績報告】

１　入所児童の確保

１）　入退所児童及び通所児童の状況及び在宅指導措置委託

①入退所児童数の推移

	初日在籍児童数			措置人員			退所児童数			月末現在児童数		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
令和７年４月	13	1	14							13	1	14
令和７年５月	13	1	14							13	1	14
令和７年６月	13	1	14							13	1	14
令和７年７月	13	1	14							13	1	14
令和７年８月	13	1	14					1	1	13	0	13
令和７年９月	13	0	13							13	0	13
令和７年10月	13	0	13							13	0	13
令和７年11月	13	0	13							13	0	13
令和７年12月	13	0	13							13	0	13
令和８年１月	13	0	13							13	0	13
令和８年２月	13	0	13							13	0	13
令和８年３月	13	0	13	1	1	2	3		3	11	1	12
計				1	1	2	3	1	4			

②　入退所児童の内訳

入所児童内訳		退所児童内訳	
児童	入所月	児童	退所月
男児１	３月	女児１	８月
女児１	３月	男児１	３月
		男児２	３月
		男児３	３月

③通所児童の内訳

通所児童の内訳		
児童	開始月	解除月
なし		

④　児童相談所からの在宅指導措置委託

退所児童について、令和７年７月から令和８年３月まで女子児童１名受託

２）　入退所児童の状況

①　児童の動向

令和７年度は入所措置が２名、措置解除が４名であった。入所児童のうち男子１名については一時保護委託として複数月に渡る対応から入所に至った。女子児童については年度末の３月に医療機関からの入所となった

退所児童については分校で発生した性加害案件の影響から、保護者の強い引取要求のため自宅への措置解除となった。年度末の退所児童については、措置変更が２名、自宅への退所が１名であった。

② 男女児比

男児の入所相談が多く、措置実績でも極端な差となっている。女子の入所相談がないわけではないが、圧倒的に男子児童の打診が多い。

令和６年度に他県より女子児童の措置入所を受け入れたが、令和７年８月に自宅へと退所となった。令和８年３月まで女子児童の入所はなかった。

３） 他機関との関係

措置施設であるため児童相談所との関係は重要であるが、施設発信の状態報告は重要である。一部の児童相談所とは、定期的な児童面会の実施や情報共有等を重ねており、協働関係として深化しつつある。

児童の入所にあたっては動機づけや児童なりの目標、目的意識等の認知認識等を求めるため相当の時間を要する。拙速な入所を要求される場面もあるが、児童の状態や支援を提供できる常態かなどを評価しながら対応してきた。

夏休み等の長期帰省の対応連絡で、齟齬が生じた。基準以上の帰省を児童相談所の協議検討なしに進め組織対応の不信感を与えてしまった。曖昧な表現ではなく具体的な日にちを伝え外泊について協議していくことを指導した。

２ 施設運営の安定（職員確保と専門性、資質向上）

１） 職員体制及び確保

① 女性の直接処遇職員１名が関連法人から出向として異動となった。出向職員として勤務していた男性職員が清風会への入職となった。また、１２月から男性職員１名が育児休業終了し勤務再開となった。

② 入所児童の男女児比率から男性職員の確保が望まれたが、女性職員が男子児童の支援を行い支援者の確保と支援の技術的な維持向上を行った。

従来からハローワークへの求人を行っているが､就職には結びつかなかったが､職員の紹介や退職者の申出があり令和８年度の就職者確保となった。

２） 専門性、資質向上

① 新入職員については、プリセプター方式である程度の期間を設け業務教育を行った。統括主任や生活リーダー、心理士等から援助の考え方について学ぶ機会を確保し、実際に直接処遇職員とともに生活場面での児童対応を通して具体的な支援についての習熟期間を確保した。

② 外部研修としては、専門性や資質向上のため県社協の社会福祉研修センターが実施する社会福祉事業等従事者研修のうち何らかの研修を直接処遇職員は全員受講した。また、全国児童心理治療施設協議会や子どもの虹研修センターが実施する研修についても複数名の職員が参加した。全ての直接処遇職員が外部研修を受けることで基本的な仕事の進め方や業務としての展開、他の事業所の職員との交

流等をはかり資質向上と社会性向上をおこなった。

③　内部研修としては被措置児童等虐待防止としてこども家庭課からの研修を行った。継続しているポジティブ行動支援導入に向けての研修会を今年度も実施している。

④　県児童福祉施設協議会の活動で各種部会や委員会活動があるが、職員が継続的に参加した施設の職員との情報交換共有の機会が得られた。

３　入所児童への心理治療と生活支援

１）　児童自立支援計画を基に、児童の行為行動障害や特性、これまでの生活などを考慮した個別的な生活支援と治療を行うよう留意した。あわせて、無断外出や暴力、自傷行為等の可能性を検討しその対策・対応を行った。

２）　児童の意向をしっかりと反映した自立支援計画には児童の以降を反映させたことで、児童が自身の課題を再認識し、自ら考える姿勢を育むことができた。また、職員も児童の主体性を重視した支援について考える機会となった。

３）　児童自ら不安や他児の行動等について相談ができる児童が育ってきている。知的に低い児童の受け入れを行ったが、指導や振り返りを繰り返し行った。しかし、行動の変容は十分に見られていない。また、虐待を受けたことによる影響や愛着に起因する行動がみられる児童もいる。

４）　入所児童のうち大多数が医療機関に受診しているが、これまで受診していた医療機関へ受診を継続している児童も複数名いる。入所を契機に施設の協力医療機関（瀧井病院）に変更の承諾をとも思うが、問題行動からの一時入院の可能性や措置変更後の医療とのつながり等から宮崎市内の医療機関への受診となっている。

４　感染症対策

１）　職員については法人の方針に従い、出勤時の検温や手指消毒の励行、マスク着用等を促し、家族等の健康状態や接触した人の発熱状況等についても留意し異変があれば逐次連絡を入れることとした。

２）　感染対策用品の準備や実施後の消毒に努めた。

３）　基本的な感染予防を職員と児童に継続的に実施した。職員や家族が新型コロナウイルス感染症に罹患したケースがあったが、出勤停止や接触者の PCR 検査の実施、マスク装着や手洗いの徹底等により児童や職員間での感染拡大はなかった。

インフルエンザについても罹患した職員はいたが、早期の医療機関受診と自宅治療（休養）により施設内での感染拡大はなかった。

４）　施設での診察場面では対面診療を基本としているがオンライン診療も併用した。体調不良時や外傷受傷等の場合は、地域の医療機関に受診した。

【実践事項】

1　施設運営

1）総合環境療法による児童の治療

情緒的な問題や虐待によって深い心の傷を持つ児童などに対して、個々の児童の状態と治療目標に合わせて、「生活」、「教育」、「心理治療」、「医療」の四分野が連携を取って、施設内で行っている全ての活動が治療であるという「総合環境療法」の立場に立って児童支援にあたった。

2）児童の人権の尊重

①　虐待等に関する研修会を施設で開催し、虐待や人権についての理解を深めた。

②　行動化の著しい児童で身体的な抑制を行わざるを得ない場合であっても、児童にとって安全な方法で行うよう職員の対応に十分注意した。

③　食事や入浴、睡眠など児童が日常的に安心して生活ができるよう環境面の整備や生活時間への配慮、職員や他児との関係性等に配慮して児童対応を行った。

④　個人情報の保護に関して、資料作成にあたり児童の氏名記載時の注意や書類の持ち出し、管理等について確認と周知を行った。

3）児童の公教育の保障

①　日向市立東郷学園小学部若竹分校、中学部若竹分校に通学し特別支援教育を受けた。

②　施設と分校間での情報の共有と処遇、教育面での配慮等の情報交換を行った。

③　一時下校や再登校について分校と協議を行い整合性のある対応を行った。

④　若竹分校での学校給食実現に向け、日向市教育委員会へ要望書の提出や協議を複数回行ったが、当年度は実現できなかった。継続して協議していく。

4）関係機関との連携

①　児童の入所にあたり、各児童相談所と情報交換を行った。また、児童相談所に確認の上、他施設や医療機関等との情報交換を行い、措置入所後の支援や心理治療についての一助とした。

②　児童相談所との関係は重要であり、施設職員と児童相談所ケースワーカーとの意見交換は有意義である。一部の児童相談所とは協力関係が深化しており、定期的な面会や報告等を行っている。

夏季に児童の帰省に関して齟齬が生じ、制度理解や職員指導等について不信を持たれた。制度や帰省時の対応について繰り返し申し合わせを行い、冬季帰省時は円滑に帰省が実施できた。

5）問題発生時の対応の徹底

①　分校での授業中に不穏となったり途中下校したり教職員の指示を受け入れることが困難な場面もあった。分校との協議で登校や途中下校、早退等のルールを申し合わせた。

②　問題行動発生後の児童対応（ふり返り等）については、その都度各担当等が行い、出来事や自らの行動の認知・認識を確認し自分の特性についての理解と適切な対応について指導を行い再発の防止に努めた。児童の特性から直ぐに問題行動等が改善することは困難であるが、日常での生活指導や心理治療、行動療法等を継続した。

③　事故や無断外出等の問題行動のあった場合は、その状況と直接的な対応、今後の対応方針等について担当児童相談所と保護者へ連絡をおこなった。

２　職員

１）職員の専門性の向上

①　県社協の社会福祉研修センターが実施する社会福祉事業等従事者研修のプログラムを直接処遇職員は受講した。また、全国児童心理治療施設協議会や子どもの虹研修センターが実施する研修についても複数名の職員が参加した。全ての直接処遇職員が外部研修を受けることで基本的な仕事の進め方や業務としての展開、他の事業所の職員との交流等をはかり資質向上と社会性向上をおこなった。

②　被措置児童等虐待防止としてこども家庭課からの研修を行った。ポジティブ行動支援導入に向けての継続研修を今年度も実施した。

２）組織的な業務遂行

①　令和７度の事業計画書で職員の業務分掌を明確にした。

②　報告や相談、連絡を軸として確実な情報の共有と連携を図るため、日常的なコミュニケーションを促す目的で WowTalk(SNS ツール)を活用した。

③　女性の直接処遇職員が男子への限定的な支援も行うことで支援力の維持向上とコミュニケーションの活発化を意識した取り組みを行った。

３）就業規則の遵守

児童に対する福祉サービスが十分に行えるように、職員は就業規則に定められた規則を遵守するよう各部署に就業規則を配布した。

４）児童相談所・学校等関係機関との連携

児童の治療にあたっては、児童相談所、家庭、教育機関、医療機関等から正確な情報を得る努力をし、関係機関と緊密な連携を取りながら治療や生活指導を進めることを意識して行った。

教育機関として若竹分校との連絡や情報交換は不可欠であり、直接処遇職員と分校教職員との協議場面を設け実施した。

５）子育て支援等

妊娠、出産後、子育て中（未就学児童）の３名の女性職員に対して継続的な就業が実現できるように短時間勤務等の配慮を行った。全職員へ育児を行いながら勤務にあたる職員へのハラスメントが発生しないよう配慮と注意を促した。また、育児休業を取得していた男性職員が職場復帰したが、子育てに関して配慮している。

６）　職員の専門性を高めるため資格取得を推奨しているが、社会福祉士試験に三名が合格した。今後も継続的に資格取得に向け進学や研修への参加等の呼びかけを行う。

３　リスクマネジメント

１）感染症対策

新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染について注意を怠らないよう感染対策委員会が中心となり活動した。

２）避難訓練と防災

定期的な避難訓練を実施した（夜間想定避難訓練を含む）。避難の動線の確認と行動について繰り返し行った。また、分校との合同で地震時の避難訓練や消火訓練を実施した。

３）防犯対策、施錠の徹底について

施設で児童が安心して生活ができるように、外部からの侵入を防ぐための施錠と危険箇所の施錠を徹底した。更に、防犯カメラについては不審者や不審車両の確認操作や警察への通報について周知した。

４）整備点検

日頃から設備・備品の点検を行い、刃物類や燃料、医薬品、洗剤等の危険物は施錠下に厳重に管理した。遊具・スポーツ用品の管理についても徹底し、老朽化した遊具の撤去や樹木の剪定を日向市に依頼し実施された。

５）児童の所在不明・不穏時等の対応

児童の無断外出により所在不明となったケースはいなかった。

他の児童や職員に対して粗暴な言動を行ったり、落ち着かない状況が継続している時には、その児童を他児から離し興奮を鎮める対応を行なった。具体的には静養室の使用を行なうが、複数名の職員での対応を行った。

４　職員会議、ケース会議、運営会議等

定期的に職員会議や各部門の会議、分校との情報交換等を行った。

５　通所及び在宅継続指導措置

継続的に通所を行っていた児童について解除されたが、年度途中から在継続指導措置を受託した。

【各部門の実践事業】

1　生活部門

【目標】

『児童が主体的に自己決定できるよう支援し、またその決定を尊重する。』

『児童と共に職員も成長する。』

『第一層支援の充実を図り、生活支援を通して生きる力を育む。』

【報告】

1）生活場面における支援

こども会議を定期的に行い、児童・職員が毎月の目標設定を立て、日々の課題解決に取り組むことが出来た。また児童の意見を受容的に取り入れ、連携機関へのアドボカシーを行うことも出来た。

ポジティブ行動支援の導入に伴い、問題行動ではなく適応的な行動にフォーカスした関わりを行なってきた。児童・職員の望ましい行動を「称賛や承認」し、適切な行動を増やすように努めることが出来た。暴言や暴力はゼロではなかったが、その都度振り返りを行い、修正を図ることが出来ていた。第一層支援を手厚く行い、児童が安心・安全に生活できる環境を今後も提供できるよう努めたい。

2）他職間の連携

各職種内の会議を活発に行い、それを基に全体で会議を開き情報共有や支援方針の統一を図ることに努めた。また医師や児童相談所、分校とも情報共有を図り、支援について助言を受け、処遇内容の改善に努めることが出来た。

2　心理部門

【目標】

『児童の困り感に寄り添う』

『児童の将来について共に考え、今の自分と向き合えるような環境づくり』

『児童の権利を大事にする「生活」と「心理」』

【報告】

今年度は定期的な個別の心理療法の提供を実施することが出来た。また個別活動で様々な社会体験を経験させ、児童が次の段階に進もうと思えるような活動を実施することが出来た。心理職員は積極的に生活の場に入り、児童の望ましい行動、不適切な行動の観察や日々の困り感の訴えの聴取に努め、適応行動を増やしていくことに努めることが出来た。

3　家庭支援部門

【目標】

『家庭環境やその問題を把握し、関係機関と連携し親子との絆の構築を図る。』

『地域資源に目を向けて支援の拡充を目出す。』

『関係機関やご家族交流などの周知報告を適宜行い、職員間に必要な情報が行き届きやすい職場環境作りに努める。』

【報告】

1）児童への対応

①児童が相談しやすいように信頼関係の構築や環境作りを行った。これからも必要な情報を職員や児童に提供できるよう継続的に行っていく。

2）ご家族への対応

①ご家族が抱えている課題や問題に関して学園全体で共有し、対応策を打ち出した後に介入を行っていった。解決には至らない事が多いが継続的に支援を行う。

②家族交流が行われた後は、ご家族に記載して頂いた交流記録の内容をしっかり把握し、次の交流や家族面談に活用を行った。

③電話対応の際は関係維持の為、傾聴・共感を中心に行った。経過的なお子さんの報告を怠らないようにする。

3）関係機関との対応

①夏休みの長期帰省を行う際に児相より越権行為を指摘された。すべては自身の制度への理解不足から招かれた事態であり、同じ過ちを繰り返さないように努める。

②里親委託のケースを進めることが出来た。里親支援専門相談員がいないので、学園でも里親支援に関する体制の強化を図りたい。

③毎月都城児相より児童面談を行ってもらっている。この場合においては児童の学園での状態やケースの共通理解がスムーズに図れていたので継続して行っていきたい。児相の所内の事情も勘案しながら柔軟に行っていきたい。

④家族療法事業に関して目標を達成する事が出来た。写真や通信の作成などを継続的に行っていきたい。

4　看護部門

【目標】

『予防的看護に取り組み、児童や職員が安心した生活が過ごせるための支援をする』

【報告】

1）健康管理

①児童

児童の健康管理については、生活担当職員および分校職員と密に情報共有を行い、日常的な状態観察の充実に努めた。体調不良等の訴えがあった際には迅速に状況を把握し、適切かつ速やかな医療機関受診へとつなげることができた。また、年2回実施の健康診断については、必要書類の作成および関係機関との連携により円滑に実施した。異常所見が認められた場合にも、速やかに受診対応を行った。

母子健康手帳、お薬手帳、受診券、保険証等の管理については適切に行い、紛失等の事案は発生しなかった。マイナンバーカードおよび資格受給者証の作成についても、施設長を中心に関係機関と連携し、適切に対応した。

診察および面会時には、児童・職員・関係機関・保護者からの情報を適宜嘱託医へ提供し、包括的支援に関する助言を得ることができた。

②職員

職員の健康管理については、健康診断の日程調整や受診希望の取りまとめ等を

関係機関と連携して適切に実施した。一方で、メンタル面において業務に影響が見られる職員もいることから、今後は支援体制の強化が課題である。

2）与薬および医薬品管理

医薬品については、薬品棚の整理整頓を徹底し、紛失等の事故は発生しなかった。与薬時には氏名・日付・用法の確認を声掛けおよび指差し確認により実施し、服薬後も薬袋の確認等を含めたダブルチェック体制を徹底した結果、誤薬事案は発生しなかった。

3）予防接種・検便

インフルエンザ予防接種については、協力医療機関と連携のもと日程調整を行い、円滑に実施した。児童についても保護者の同意を得た上で適切に接種を行った。また、検便についても対象者全員に対し、期日内に漏れなく実施した。

4）感染予防対策

地域においてインフルエンザおよび新型コロナウイルス感染症の流行が見られたが、日常的にマスク着用、手洗い・うがいの励行、環境整備の徹底を行った。加えて、職員の体調管理の徹底により、施設内での感染拡大は発生しなかった。今後も継続して感染予防対策に取り組む。

5　栄養・調理部門

【報告】

1）栄養管理

今年度も食事摂取量基準に準じた食品構成を行い、献立に反映し、児童の成長支援に繋げることが出来た。

2）アレルギー対応

児童の健康状態やアレルギーによる代替え食の提供等、柔軟に対応し、安心安全な食事を提供することが出来た。

3）衛生管理

食中毒を出さないよう、適切な方法で食材の管理や調理を行い、安全な食事を提供することが出来た。

4）食育

児童が食事中、食堂内に調理員が向かい、調理の工程の説明や食事の感想を直接聞いて回る機会を設けた。調理員同士が仲良く調理をしている場面を見てもらう機会は登校等の関係で設ける事が出来なかったが、施設行事に調理員も参加してもらい、児童や他部門の職員と楽しく調理をすることが出来た。

【令和７年度　職員研修（外部研修）】

月	日	内　容	参加職員
4 月	10-11	児童福祉司任用前講習会　前半 （児童養護施設等基幹的職員研修）	
	28	児童協 第 1 回総会	
5 月	15	児童協 第 1 回家庭支援専門相談委員会	
	15-16	全児心 第 1 回施設長会・総会（神奈川）	
	16	児童協 第 1 回研修委員会	
	27	児童協 第 1 回心理士委員会	
	28	児童協 第 1 回施設長会	
6 月	3	後輩に仕事を正しく教えるﾃｨｰﾁﾝｸﾞ研修	
	5	家庭裁判所及び管内警察署等関係機関連絡協議会 労務管理研修Ⅰ（ﾘﾓｰﾄ）	
	11	労働保険等に関する事務講習会 ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ研修 ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ編	
	11-13	令和 7 年度児童福祉司任用前講習会 後期 第 72 回九州児童福祉施設職員研究大会	
	12	労務管理研修Ⅱ（ﾘﾓｰﾄ）	
	19	労務管理研修Ⅲ（ﾘﾓｰﾄ）	
	20	ﾊﾗｽﾒﾝﾄ対応研修（ﾘﾓｰﾄ）	
	24	ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ研修 初任者編	
	25	職場内ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ研修 中堅職員編	
7 月	1	ﾒﾝﾊﾞｰｼｯﾌﾟ研修 中堅職員編	
	4	部下の可能性を引き出すｺｰﾁﾝｸﾞ研修	
	8	会計・財務管理研修 福祉施設ｺｰｽ	
	9	児童協 第 2 回心理士委員会	
	10	課題解決力向上研修 児童協 第 2 回研修委員会	
	11	課題解決力向上研修	
	17-18	九州ﾌﾞﾛｯｸ児童心理治療施設職員研修会	
	22	児童協 第 2 回施設長会（長崎） 会計・財務管理研修 福祉施設ｺｰｽ	
	30	令和 7 年度宮崎県児童福祉施設球技大会	
	31	ﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽ研修 中堅職員編	
8 月	1	会議のすすめ方 ﾌｧｼﾘﾃｰｼｮﾝ研修	
	5-6	福祉職員ｷｬﾘｱﾊﾟｽ対応生涯研修課程 中堅職員ｺｰｽ	
	7	令和 7 年度福祉教育推進研修会	
	19	児童協 第 3 回施設長会	
	28	子どもの性に関する問題の理解とその対応研修	
	28-29	職務を通じて後輩を育てる後輩を育てる OJT 研修 中堅職員ｺｰｽ	
9 月	1-2	災害対応力強化研修	
	3	児童協 第 1 回研修部会	
	6	ｳｲﾝｸﾞ・ｵﾌﾞ・ﾊｰﾄ 15 周年記念ﾊﾟｰﾃｨ	
	10-12	全児心職員研修会（愛知）	
	10-11	福祉職員ｷｬﾘｱﾊﾟｽ対応生涯研修課程 中堅職員ｺｰｽ	
	17	児童協 第 3 回心理士委員会	

	18 25	児童協 第2回家庭支援専門相談委員会 障がい理解研修（ﾘﾓｰﾄ）	
10月	2-3 7 8 9 9-10 10 13-14 23 28-29 29-30	全児心 新任職員研修（神奈川） ﾒﾝﾊﾞｰｼｯﾌﾟ研修 初任者編 人材確保に活かす福祉広報研修 ﾌﾟﾘｾﾌﾟﾀｰ研修 児童福祉施設職員合同研修会 職場内ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ研修 ﾁｰﾑﾘｰﾀﾞｰ編 熊本県看護師連絡会（熊本） 職務を通じて後輩を育てるOJT研修 中堅職員ｺｰｽ 全国児童福祉安全委員会連絡協議会 第16回全国大会（広島） 九州地区児童心理治療施設 職員交流交流研修（熊本）	
11月	6 7 13-14 15 18 19 22-23 27-18	業務改善のすすめ方研修 業務改善のすすめ方研修 全児心 職員研修会 生活指導部会（兵庫） 児童福祉施設球技大会（宮崎） 年末調整等事務講習会 九児心企画委員会（ﾘﾓｰﾄ） ﾚｸﾘｪｰｼｮﾝ研修（子ども） CVPPPﾄﾚｰﾅｰ養成研修（三重） 児童協 児童福祉施設自主研修	
12月	1 4 6 11 12 16 17 19 23	合同職員研修会（鐘ヶ浜学園） メンバーシップ研修　中堅職員編（宮崎） 第28回児童福祉施設交流駅伝,持久走大会（宮崎） 児童協　第三回家庭支援専門相談委員会（宮崎） 児童協　第三回研修委員会 九児心企画委員会（ﾘﾓｰﾄ） 勤務シフト作成セミナー（ﾘﾓｰﾄ） チャボナビ施設職員向け研修会（ﾘﾓｰﾄ） 駅伝・持久走大会反省会・情報交換会	
1月	15 20 22 29 30	メンタルヘルス研修　中堅職員編（宮崎） 九児心企画委員会（ﾘﾓｰﾄ） 福祉職員のための医学基礎知識研修（ﾘﾓｰﾄ） 九児心企画委員会（福岡） こども性暴力防止法関連システムまとめ登録に関する説明会 全児心研修委員会（ﾘﾓｰﾄ） 全児心50周年記念事業ミーテイング（ﾘﾓｰﾄ）	
2月	3 5-7 9 13 16 17 19-20 27	決算実務研修 全国児童青年精神科医療施設協議会第55回研修会（福岡） 県児童協第4回研修会・情報交換会（宮崎） 門川町障碍者自立支援協議会（門川） こども性暴力防止法に関する事業者向け全国説明会（ﾘﾓｰﾄ） 県児童協　第2回総会（宮崎） 九児心企画委員会（ﾘﾓｰﾄ） 全児心総会・施設長会（佐賀） 全児心50周年記念事業ミーテイング（ﾘﾓｰﾄ）	

3 月	5 12 17 31	県児童協第 4 回家庭支援専門相談委員会 県児童協心理士委員会 九児心企画委員会（ﾘﾓｰﾄ） 九児心 施設長会議　Zoom　10：00- 濵本	

【令和 7 年度　職員会議・内部研修】

月	日	内容	日	内容
4 月	2 4 7 11 22 24	リーダー会議 分校との協議（PBS について） 赤木先生：社会的養護について 合同職員会、1 階棟職員会議 2 階棟会議 セラピスト会議	25 28	職員会議 協議（キャンプについて） 統括・棟リーダー会議 教育支援計画についての協議（分校） 教育支援計画についての協議（分校）
5 月	2 7 9 12 16 19	リーダー会議 教育支援計画についての協議（分校） セラピスト会議 教育支援計画についての協議（分校） 教育支援計画についての協議（分校） 協議（6 月行事について） 救急法研修（分校合同） 協議（6 月行事について）	21 22 25 27 29	1 階棟会議 協議（キャンプについて） 2 階棟会議 男子棟こども会議 職員会議 協議（キャンプについて） 打ち合わせ（分校、修学旅行）
6 月	10 17 18	分校との協議（プールについて） リーダー会議 入所打診児童検討会議 合同職員会（分校） 協議（キャンプについて）	19 23 27 29	新人職員会議 男子棟職員会議 分校との協議（7 月行事について） 女子棟会議 職員会議 男子棟こども会議
7 月	3 7 8 11 14	リーダー会議 セラピスト会議 1 階生活棟会議 協議（PC・ゲームについて） リーダー会議 協議（夏祭りについて） 協議（PC・ゲームについて）	15 16 20 26	2 階棟会議 職員会議 新人職員会議 こども会議 協議（夏祭りについて）
8 月	5 20	協議（キャンプについて） 合同職員会議（分校）	29	職員会議 分校との協議（行事について）
9 月	2 5 8 9 11 16	ケース会議 1 階棟会議 リーダー会議 新人職員会議 直接処遇会議 リーダー会議 PBS 会議	17 18 25 26 29 30	合同職員会（分校） 協議（10 月の行事について） ケース会議 直接処遇会議 リーダー会議 職員会議 統括・棟リーダー会議
10 月	6 7 10 14 	セラピスト会議 協議（PC・ゲームについて） PBS 会議 教育支援計画についての協議（分校） 協議（PC・ゲームについて）	15 17 20 21 23	合同研修会（分校） 直接処遇会議 1 階棟会議 新人職員会議 職員会議
11 月	6 10 11 13 21	直接処遇会議 1 階棟会議 直接処遇会議 PBS 会議 1 階棟会議	25 26 28 30	協議（クリスマスについて） セラピスト会議 合同職員会（分校） 職員会議 こども会議

12 月	4 9 11	協議（餅つきについて） 協議（クリスマスについて） 協議（PC について）	16 22 23 26	協議（PC について） リーダー会議 合同職員会（分校） 1 階棟会議 協議（PC・ゲームについて） 職員会議
1 月	8 13 20	セラピスト会議 協議（ゲームについ） 合同職員会	22 23 26 29	新人職員会議 1 階棟会議 職員会議 対応検討会議 統括・棟リーダー会議
2 月	4 17	被措置児童等虐待防止研修 直接処遇会議 合同職員会（分校）	25 27	リーダー会議 職員会議
3 月	4 5 12 17	1 階棟会議 統括・棟リーダー会議 新人職員会議 合同職員会（分校）	18 23 25 30	セラピスト会議 入所前ケース会議 入所児童検討会議 職員会議 1 階棟会議 セラピスト会議 協議（PC・ゲームについて）

【令和７年度　関係機関会議等】

月	日	内容	日	内容
4 月	8 17	中央児相措置予定児童情報共有 越谷児相措置児童面会、情報共有 延岡児相措置児童面会、情報共有	21 23 28	延岡児相措置児童面会、情報共有 都城児相措置児童面会、情報共有 延岡児相措置児童保護者面会、情報共有
5 月	7 8 12 14	中央児相措置児童面会、情報共有 都城児相措置児童面会、情報共有 延岡児相措置児童面会、情報共有 延岡児相措置児童面会、情報共有 越谷児相措置児童面会、情報共有	23 26 29	中央児相措置面会、情報共有 延岡児相措置児童面会、情報共有 越谷児相措置児童面会、情報共有 都城児相措置児童現況調査
6 月	2 9 11	都城児相措置児童自立支援協議 越谷児相措置児童面会、情報共有 越谷児相措置児童面会、情報共有 延岡児相措置児童面会、情報共有	16 18 24 30	延岡児相措置児童面会、情報共有 都城児相措置児童面会、情報共有 中央児相措置児童聞き取り、情報共有 中央児相措置児童自立支援協議 延岡児相措置児童面会、情報共有
7 月	1 10 16 17	都城児相措置児童面会、情報共有 中央児相措置児童面会、情報共有 延岡児相措置児童面会、情報共有 延岡児相措置児童面会、情報共有 都城児相措置児童面会、情報共有	18 24 25 28	門川町自立支援協議会 延岡児相措置児童面会、情報共有 都城児相措置児童面会、情報共有 中央児相措置児童面会、情報共有 中央児相措置児童保護者交流、情報共有
8 月	6 7 8 13	都城児相措置予定児童情報収集 延岡児相措置児童面会、情報共有 延岡児相措置児童現況調査 延岡児相措置児童面会、現況調査	14 22 27	中央児相措置児童保護者面会、情報共有 都城児相措置児童現況調査 中央児相措置児童面会、情報共有 中央児相措置児童現況調査
9 月	3 17 18	中央児相措置児童面会、情報共有 延岡児相措置児童面会、情報共有 中央児相措置児童面会、情報共有	23 25 26	延岡児相措置児童保護者面会、情報共有 都城児相退所児童面会 延岡児相措置児童面会、情報共有

		都城児相措置児童面会、情報共有	29	都城児相措置児童面会、情報共有
10 月	6	延岡児相措置予定児童情報収集	24	延岡児相措置児童面会、情報共有
	15	県子ども家庭課　八ヶ代主幹との協議	27	延岡児相退所児童面会、情報共有
	23	都城児相措置児童面会、情報共有	28	都城児相意見交換会
11 月	6	中央児相措置児童保護者面会、情報共有	13	延岡児相措置児童面会、情報共有
	7	中央児相措置児童面会、情報共有	20	都城児相措置児童面会、情報共有
		延岡児相措置児童面会、情報共有	22	都城児相措置児童保護者交流、情報共有
			26	都城児相退所予定児童情報共有
12 月	1	延岡児相措置児童里親交流、情報共有	18	延岡児相措置児童面会、情報共有
	3	延岡児相措置児童面会、情報共有	23	延岡児相措置児童面会、情報共有
	15	都城児相措置児童面会、情報共有	25	都城児相措置児童面会、情報共有
	17	延岡児相措置児童保護者面会、情報共有	28	都城児相措置児童保護者交流、情報共有
1 月	1	延岡児相措置児童里親交流、情報共有	21	延岡児相入所打診児童保護者見学、情報共有
	9	延岡児相措置児童面会、情報共有	22	都城児相退所予定児童措置施設面会
	12	都城児相措置児童面会、情報共有	23	都城児相退所児童面会、情報共有
	13	延岡児相措置児童面会、情報共有	27	都城児相措置児童面会、情報共有
	16	都城児相措置児童保護者面会、情報共有		延岡児相措置児童保護者面会、情報共有
	20	中央児相措置児童面会、情報共有		
2 月	3	中央児相措置児童面会、情報共有	18	中央児相措置児童保護者面会、情報共有
		都城児相退所予定児童措置施設見学	19	延岡児相措置児童面会、情報共有
	6	延岡児相措置児童面会、情報共有		都城児相措置児童面会、情報共有
		中央児相措置児童面会、情報共有	21	都城児相措置児童保護者面会、情報共有
		都城児相措置児童面会、情報共有	24	都城児相退所予定児童五者協議
	8	都城児相措置児童保護者面会、情報共有	28	都城児相措置児童保護者交流、情報共有
	16	延岡児相措置児童面会、情報共有		
3 月	2	中央児相措置児童面会、情報共有	12	延岡児相措置児童保護者面会、情報共有
		都城児相一時保護児童ケース会議	14	延岡児相退所予定児童里親交流、情報共有
	3	延岡児相措置児童保護者面談、情報共有	17	延岡児相措置児童面会、情報共有
	5	延岡児相措置児童面会、情報共有	19	都城児相措置児童保護者面会、情報共有
	6	都城児相退所予定児童ケース会議	21	都城児相措置児童保護者面会、情報共有
	11	中央児相措置児童保護者交流、情報共有	24	延岡児相退所予定児童里親交流、情報共有
		延岡児相退所児童家庭訪問、情報共有		

【令和７年度　施設・分校行事】

月	日	内容	日	内容
4 月	1	若竹分校 転任教諭へ説明見学	16	地震想定避難訓練
	4	施設イベント　森の科学館	18	棟イベント　男子児童新年会
	8	始業式		
	9	若竹分校　入学式		
5 月	4	施設イベント　北浦	25	夜間想定避難訓練
	11	施設イベント　子ども食堂体験	27	分校　内科検診
	16	分校救急法研修	28	分校授業参観
	20	分校　貧血検査・生活習慣予防検診	30	分校　英語検定
	22	分校　耳鼻科検診		
		内部監査		
6 月	3	延岡児相　訪問	19	分校　水泳指導
		心理実習	23	延岡児相　訪問
	4	清風会理事会	24	清風会評議委員会
	5	分校　修学旅行	26	火災想定避難訓練

	11	分校　非行防止教室	27	分校　ふるさと再発見事業
	14	施設行事 カラオケ&お菓子バイキング	30	中央児相、県子ども家庭課　訪問
	17	分校　実力テスト		
7月	1	水泳指導開始	15	九州医療科学大学インタビュー調査
	2	グラウンド草刈り	22	PC講習&テスト
	3	消防設備点検	24	地震想定避難訓練
	6	分校　英検受験	31	PCテスト
	14	九州医療科学大学インタビュー調査		
8月	6	地域振興課草刈り	21	退所児童来園交流
	12	ボランティア（前田有理先生）	26	分校　始業式
	13	施設イベント　かき氷	27	施設イベント　かき氷
	18	施設イベント キャンプ 須美江	28	火災想定避難訓練
9月	2	分校　実力テスト	22	分校　満月観察
	3	分校　実力テスト	24	地震想定避難訓練
	6	中3児童　通塾開始	26	分校　英語検定
	8	清風会事務連絡会議	27	施設イベント　映画鑑賞
	21	退所児童来園交流	30	分校　半月観察
10月	4	分校　スポーツフェスタ	23	定期テスト
	7	分校　満月観察	24	定期テスト
	21	分校　栄養指導教室		火災想定避難訓練
	22	県監査	25	高鍋農業高校一日体験学習
		分校　定期テスト	29	分校　よのなか教室
				職場インタビュー学習・職場体験学習
				インフルエンザ予防接種・児童診察
11月	8	施設イベント フェニックス自然動物園	19	分校　鑑賞教室
	9	分校　英語検定	28	日向市青年会議所チャリティー益金贈呈
	14	分校　遠足（ヘルストピア）		夜間自身想定避難訓練
	18	本校交流	29	分校　学習発表会
12月	6	本校　数学検定	20	施設イベント　もちつき
	10	分校　よのなか教室	25	施設イベント　クリスマス会
	12	丸紅基金　助成金贈呈式	29	1階棟　大掃除
	14	男子児童自主企画イベント		
1月	2	施設イベント　初詣	13	消防設備点検
	6	分校　始業式	16	分校　英語検定
	8	分校　実力テスト	20	分校　地震、津波想定避難訓練
	9	分校　実力テスト		
2月	6	分校　参観日	20	御下賜金授与式
	16	分校　英語検定	22	施設イベント　牧水公園
3月	4	清風会理事会	25	分校　小学部卒業式
	16	分校　中学部卒業式	26	分校　修了式・離任式
	24	清風会評議委員会	27	施設イベント　釣り
			28	火災想定避難訓練

【令和7年度　施設見学・視察】

月日	団　体　名	参加数（名）	備　考
4/1	若竹分校教職員	3	施設見学
4/14	日向市教育委員会訪問	1	施設見学
4/21	県こども家庭課職員見学	4	施設見学
5/30	県保健福祉部長視察	3	視察

6/3、4、7	九州医療科学大学	3	公認心理師実習
8/12～22	教育ボランティア	1	不定期
12/20	餅つきボランティ	11	JA 日向東郷支店

【職員の状況】（令和８年３月３１日現在）

職種	人数	職種	人数
施設長	1	看護師	1
副施設長	1	心理療法担当職員(非常勤1名含)	4
医師（契約医療機関派遣）	2	児童指導員	7
統括主任	1	保育士	4
個別対応職員（主任）	1	支援員	2
家庭支援専門相談員	1	栄養士	1
事務員	1	調理員	4
合　　計		３１名	